

私

は携帯電話を持たない。「このご時世に!?!」とよく

驚かれるが、私自身は不便を感じない。不便を感じているのは私ではなく、周囲の人間のような。

何も私は連絡手段を一切断っているわけではない。コンピュータのメールアカウントは仕事用、プライベート用と2つも持っているし、家には固定電話も引い

「どうして携帯を持っていられるの?」と聞きたい。

2年ほど前までは私も携帯電話を持っていた。絵文字も充実し始めたところで、新しい機種が出るごとに買い替え時期を模索していた。スタイリッシュなものや機能の充実したものを手に、どこかそれが自分の趣味や思想までも発信する可能性を感じてしまっていた。

ストラップや待ち受け画面も一工夫して、自分らしさを加えていく。友人の持つ、よりステキな携帯を前に一喜一憂し、高まる物欲を何とか静める。そして、電話やメールのやりとりに時間を割き、連絡が来ないことに悲しみ、メールの返事に苦しむ。

もちろん私も携帯電話を持たなくなった最初のころは不便も感じたが、拘こどわっていたことを一度に投げ出すと、不便を感じないどころか、喜びを感じるようになった。元々、持ち物などで相手に価値判断されることを極度に嫌うくせに、自分自身では

ある一定の拘こどわりを拭い去れない。メールで使う言い回しも、絵文字も気軽に選べないし、気の利いた友人からのメールには気の利いた言葉で返すのが礼儀だと思いがゆえ、なかなか返事を送ることができない。自分が送ったメールの返事が遅いと気を揉むくせに。

そんな自分の中の徹底的に顕著な矛盾から解放してやる。そのことがどんなに価値のあることか、実際、数年経ってみないと実感は得られなかった。今は何よりも「束芋は携帯持っていないから」と許されることが嬉しい。こんな専売特許をみすみす明け渡したりしたくはない。

私がそんな自分を認識した上で気付いたのは、携帯電話を何の葛藤もなく使いこなせる人には使う才能があるということ。ある程度の距離を保ち、振り回されない状態に自分を置ける才能がなければ、携帯電話と物理的な距離をとるといふ私の専売特許をこっそり教えてあげたくなる。☺

欲からの解放

@圏外

ている。電話には留守番電話機能もあればファックスだって受け取れる。何か一つ調子が悪くても、あと三つ以上の手段は用意しているのだ。

電気がまったく使えなくなつた場合にはどうしようもないが、そんな非常事態を除けば連絡がつかないなんてことはまずない。それなのに、「どうして携帯を持たないの?」と聞かれる。私は

